

まえがき

本報告書は、緑化生態研究室が平成 27 年度に行った調査・研究の概要ならびに、当研究室のスタッフが平成 27 年度に学会や雑誌などで発表した論文を収録したものです。

平成 27 年度に実施した調査・研究課題は、大きく以下の 5 テーマに分類されます。

- ① 地球温暖化対策に関する研究
- ② 樹木の管理と更新に関する研究
- ③ 生物多様性の確保に関する研究
- ④ 良好な景観の形成に関する研究
- ⑤ 公共空間の分析と計画に関する研究

「① 地球温暖化対策に関する研究」では、樹木の CO₂ 固定に関する研究を実施しました。

「② 樹木の管理と更新に関する研究」では、街路樹の安全性向上に関する研究を実施しました。

「③ 生物多様性の確保に関する研究」では、地域性植物による緑化手法に関する研究、河川管理による外来植物の分布抑制に関する研究、猛禽類等に対する環境保全措置及びモニタリング手法に関する研究を実施しました。

「④ 良好な景観の形成に関する研究」では、質の高い道路空間の再編・利用に係る計画手法に関する研究を実施しました。

「⑤ 公共空間の分析と計画に関する研究」では、緑の基本計画の策定、都市公園の質的向上に関する研究を実施しました。

また、これらの研究を以下の国土技術政策総合研究所資料（以下国総研資料）にとりまとめました。

- ・「防災公園の計画・設計に関するガイドライン(案)（平成 27 年 9 月改訂版）」（国総研資料第 857 号）
- ・「街路樹再生の手引き」（国総研資料第 885 号）
- ・「道路環境影響評価の技術手法「13. 動物、植物、生態系」の環境保全措置に関する事例集（平成 27 年度版）」（国総研資料第 906 号）
- ・「新技術等を用いた猛禽類の調査手法に関する技術資料」（国総研資料第 907 号）

緑化生態研究室は、今年度（平成 28 年 4 月）より新たに社会資本マネジメント研究センターに所属いたしました。地球規模の環境問題を踏まえつつ、自然と人間の共生する緑豊かな国土を形成し、国民が豊かさを実感できる生活環境を形成するため、今後も環境研究に邁進する所存であります。

皆様におかれましては、多岐にわたる当室の調査・研究の概要等を集約した本報告書を通じて、当室の取り組みへのご理解を深めていただくとともに、その成果が当室の担う目的の実現に着実に結びつくものとなるよう、引き続き変わらぬご指導をいただければ幸いです。

平成 28 年 12 月

国土交通省 国土技術政策総合研究所
社会資本マネジメント研究センター
緑化生態研究室長
舟久保 敏